

平成 26年度 栄村ふるさと復興支援金事業総括書

申請集落等名 泉平

代表者名 小林 清治

事業名	泉平多目的施設新設工事
事業区分	その他、地域の特色を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ハードのみ
事業実施期間	平成 26年 9月 20日 から 平成 26年 11月 30日 まで

1 事業内容

① 自己評価(事業実施率)	A
---------------	---

豪雪ハウス一式

- 1、ドーム型豪雪ハウス (53,750㎡)
- 2、基礎工事一式
- 3、2階床取付工事
- 4、電気工事一式



2 事業効果

② 自己評価(事業効果)	B
--------------	---

- (1) 子供の通学、高齢者の外出時(カタクリ号)及び冠婚葬祭等の諸用事における待合所としての利用。
- (2) 農産物の集出荷場及び農産物各部会等の学習拠点場所としての利用。
- (3) 山菜採り、農業体験等の文化交流施設としての利用。
- (4) 地域資源活用拠点施設(ねこつぐらグループ)。
- (5) 農家組合組織の共同防除機等の保管及び修繕場所。
- (6) AED及び非常用発電機の設置・保管場所。
- (7) 水道水の飲み水利用及び諸機器等の洗浄場所。
- (8) ゴミ集積場所、郵便ポスト、公選掲示板の設置場所。

3 今後の取組み

1、2階部に部屋を作成。(区自費による)

- (1) ねこつぐらグループによる「長野県伝統的工芸品 栄村つぐら」の作成
- (2) 区民の談話室として活用

2、祭等のイベント(ちょうちん行列、太鼓等)の準備や練習の場として利用。

※ ①自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示してください。

※ ②自己評価(事業効果)欄は、以下から選択してください。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある